

おでかけだより

新春号 NO. 68

2021年1月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



新年あけましておめでとうございます



理事長 樋口 蓉子

例年なら、皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます、と続くところですが、今年はそんな言葉が憚られる新年になってしまいました。昨年は、コロナに明けコロナに終わる1年でした。皆様方も毎日の生活の中でご苦労があったことと思います。おでかけサービス杉並の各事業も当然影響を受け、対策を講じながら頑張っ活動した1年でした。その様子はどうぞ裏面をご覧ください。

おでかけサービス杉並は、2005年2月の事業開始以来15年が経過しています。移動サービスの事業から始まり、ゆうゆう桃井館・善福寺館、NEKOの手サポート、オープンリビングけやきの見える家、杉並区外出支援相談センターもび〜ると、活動・事業の幅を拡げてきました。

10周年の時は、関係者が一堂に集まってのお祝いの会をいたしました。今回も秋に記念行事を企画していましたが、そこへこのコロナ禍。残念でしたが中止といたしました。今、その代わりにと、皆様にもご協力を頂きまして、3月に「おでかけだより15周年記念号」の発行を企画しています。以下のコラムをご覧ください。

本年もメンバー一同、これまで以上に一層の努力をしてみたいと思いますので、どうぞ皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、コロナも解決の一步を踏み出して、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、心より祈念申し上げます。



「おでかけだより15周年記念号」発行に際して、
皆様から一言メッセージをお願いします！

おでかけサービスを利用して、こんなことがあった、心に残ることなど。そしてこれからのおでかけサービスに期待することなど。その他なんでも結構ですから、同封のハガキにお書き頂き、1月20日（水）までに投函してください。お待ちしております！
どうぞよろしくお願い申し上げます。



引き続き、ゆうゆう善福寺館の受託が決まりました！

ゆうゆう善福寺館は本年3月で9年の受託期間が終わります。

改めて事業者選定のプロポーザルが昨年11月にありまして、第一次書類審査、第二次プレゼンを経て、年末に決定の通知を頂きました。

これからも初心を忘れず頑張っ運営してまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



2021 コロナ禍だけどもがんばってます！

移動サービス

せまい空間でしかも障害や基礎疾患のある方を送迎する活動なので、当初はかなり慎重な対応が必要で戸惑いもありましたが、事情のわかった登録会員の送迎ですので、相互の体調確認やマスク着用、手指消毒、車内消毒、走行中の換気等を徹底することで活動を止めることなく運行しています。「いつもの人が迎えに来てくれる」という安心感から、病院以外の外出も増えています。

乗車前に乗車される方全員の検温をお願いします。発熱がある場合は主治医に相談し、通院が必要であれば、熱がある事を伝えたくて一般タクシーや介護タクシーをご利用ください。もび〜るでも相談をお受けします。

ゆうゆう館

杉並区の方針で4ヶ月ほど休館しましたが、館内の消毒、マスク着用、体温測定、手指消毒等を徹底し、部屋の定員を半分に制限したり、換気を頻繁に行うなどの対策をする事で7月から再開しました。また、オンラインでの講座などにもチャレンジしています。



桃井館

マーじゃんサロンでは、参加者の皆さんに、マスク・フェイスシールドの着用と手指の消毒、「密」を避けるためにグループ分けをして隔週の参加をお願いしています。また、終了後には、使用したマーじゃん牌と点棒の消毒もお願いしています。いろいろご負担をおかけしていますが、皆さんのゲームにかける熱意は変わりないようです。



善福寺館

いろいろな企画がある中でも、特に大人気の「気軽に！ みんなで歌いましょう♪」の再開にはスタッフ一同大いに悩みました。しかし、「しっかりと感染予防をすれば、皆さんの楽しみでもある集い・歌うといった企画を実施できるのではないかと判断し、9月末から再開しました。とにかく皆さん、歌えることを楽しんでいきますので、その様子を拝見している我々まで元気になれるます。



外出支援相談センターもび〜る

緊急事態宣言をうけて対面での相談を取りやめ、5月末まで電話相談のみで業務を継続していました。協力業者の一般タクシーや介護タクシー、市民活動の移動サービスは、利用者に、そしてドライバーにも安心な運行を行うため様々な努力をしています。発熱している方の対応は悩ましいですが、医師や保健所の判断を聞きながら対応しています。

オープンリビングけやきの見える家

3月からお休みしましたが、通っていた方たちのことが気にかかり、往復葉書で近況を尋ねました。すると思いのつまった返信がたくさん！ 寄せられた声を「かわら版」にまとめてお届けしたところ「会えなくても繋がっている！ 元気が出た」と喜んでいただけました。今は前のように大勢では集まれませんが、毎週木曜日、週ごとにグループに分けて開いています。